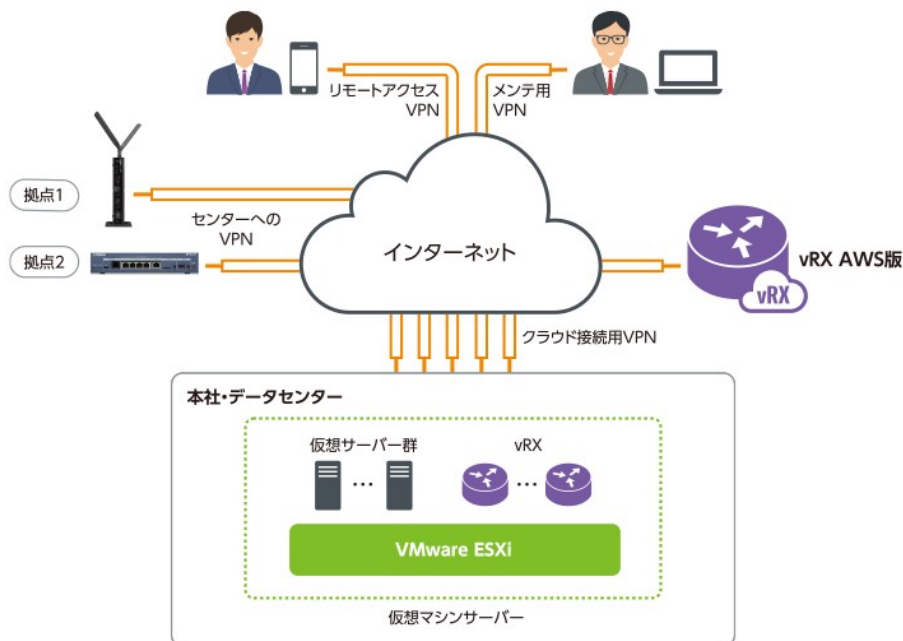


ヤマハ 仮想ルーター『vRX』にVMware ESXi版ライセンスが登場

オンプレミスの仮想環境での動作を実現、2021年1月発売予定

ヤマハ株式会社は、ネットワークを仮想化したいというニーズに応えるため、既発売の Amazon Web Services (AWS) 版に加えて、ローカル仮想化プラットフォーム上で動作する、仮想ルーター『vRX』の VMware ESXi 版ソフトウェアライセンスを 2021 年 1 月に販売開始予定です。



※AWS は、Amazon Web Services, Inc. が提供するクラウドコンピューティングサービスです。

※VMware ESXi は、VMware, Inc. が提供する仮想化プラットフォームです。

<製品の概要>

当社は 2019 年 9 月に、ハードウェア型ヤマハルーターの標準的な機能を搭載した仮想ルーター『vRX』の AWS 版ソフトウェアライセンスを発売し、クラウドサービス上における柔軟なネットワーク構築と安定的な接続の実現で好評を得てきました。今回発売する VMware ESXi 版ソフトウェアライセンスは、企業本社のサーバールームやデータセンター内の仮想マシンサーバー上でも仮想ルーター『vRX』の動作を実現します。ライセンスを買い足すだけで簡単に VPN 接続数を拡張できるため、需要変動の大きいテレワーク用 VPN を収容するセンタールーターに適しています。AWS 版と同様に、VMware ESXi 版ライセンスにも基本ライセンスと VPN オプションライセンスの 2 種類があります。また、無料でお試しください。トライアルライセンスを用意しており、購入前に VMware ESXi 版『vRX』の機能をお試しいただけます。今後も、他のクラウドサービスや仮想化プラットフォームへの対応を順次検討してまいります。

■ 一般の方のお問い合わせ先：

ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL. 03-5651-1330

○ 『vRX』 基本ライセンス

品名	品番	上限速度	ライセンス価格(税抜)	有効期間
ローカル仮想環境版 vRX 基本ライセンス 10Mbps 1年	vRX-1Y10M-VM	10M bit/s	16,500 円	1年
ローカル仮想環境版 vRX 基本ライセンス 20Mbps 1年	vRX-1Y20M-VM	20M bit/s	20,000 円	1年
ローカル仮想環境版 vRX 基本ライセンス 100Mbps 1年	vRX-1Y100M-VM	100M bit/s	62,000 円	1年
ローカル仮想環境版 vRX 基本ライセンス 500Mbps 1年	vRX-1Y500M-VM	500M bit/s	186,000 円	1年
ローカル仮想環境版 vRX 基本ライセンス 1Gbps 1年	vRX-1Y1G-VM	1G bit/s	300,000 円	1年
ローカル仮想環境版 vRX 基本ライセンス 10Gbps 1年	vRX-1Y10G-VM	10G bit/s	2,000,000 円	1年

◎VMware ESXi 版『vRX』はローカル仮想環境版 vRX 基本ライセンスをご利用いただけます。

◎基本ライセンスは、指定いただいた利用開始日からご利用が可能です。

◎販売計画：ライセンス数（合計）700 台分のライセンス／年

○ 『vRX』 VPN オプションライセンス

品名	品番	VPN 対地数	ライセンス価格(税抜)
ローカル仮想環境版 vRX オプションライセンス VPN10 対地	vRX-VPN10-VM	10 対地	20,000 円
ローカル仮想環境版 vRX オプションライセンス VPN100 対地	vRX-VPN100-VM	100 対地	188,000 円
ローカル仮想環境版 vRX オプションライセンス VPN500 対地	vRX-VPN500-VM	500 対地	860,000 円
ローカル仮想環境版 vRX オプションライセンス VPN1000 対地	vRX-VPN1K-VM	1000 対地	1,560,000 円

◎オプションライセンスの購入時には、別途基本ライセンスが必要です。

◎VPN オプションライセンスには利用期間の制限がなく、基本ライセンスをご継続いただいた場合も、引き続きご利用いただけます。

○ 『vRX』 トライアルライセンス

品名	品番	ライセンス価格	有効期間
vRX 基本ライセンス トライアル版	vRX-TR-B1	無料	最大 20 日間
vRX オプションライセンス VPN トライアル版	vRX-TR-V1	無料	vRX-TR-B1 が有効な間

◎トライアルライセンスは、Amazon Web Services (AWS) 版『vRX』と VMware ESXi 版『vRX』をそれぞれお試しいただけるよう、1 回のユーザー登録につき 1 度ずつ配布します。

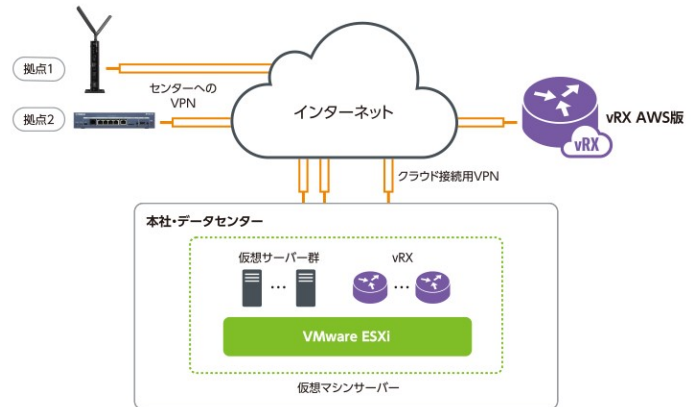
◎トライアルライセンスの上限速度は 10G bit/s、VPN 対地数は 100 の予定です。

<主な特長>

○仮想環境上でも柔軟なネットワーク設計が可能

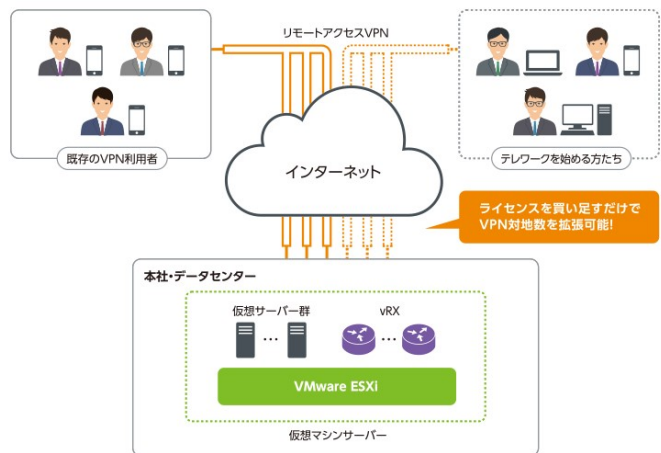
1. AWS 環境に加えて VMware 環境でもヤマハルーターによる VPN 構築を実現

従来のハードウェア型ヤマハルーターと『vRX』を併用することで、オンプレミス(自社運用型)とクラウドのネットワーク同士をヤマハルーターだけで接続できます。また、コマンド体系が共通しているため、従来のハードウェア型ヤマハルーターで培った設定ノウハウを活かしたネットワーク構築が可能です。ヤマハルーター同士でオンプレミスとクラウドを接続することで、安定性が高い VPN の構築を実現します。



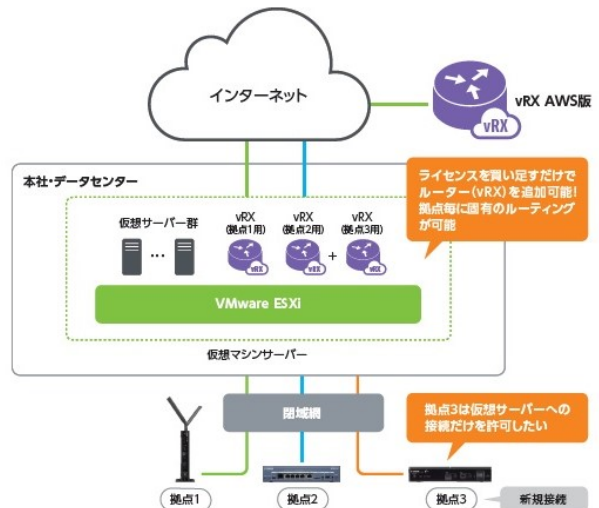
2. テレワークに最適なセンタールーターとしても利用可能

本社・データセンター内の仮想マシンサーバー上で『vRX』を動作させることで、高いスケーラビリティが必要なテレワーク用 VPN の収容に最適なセンタールーターとして利用可能です。テレワークの導入で、在宅勤務者によるスマートフォンやPCからのリモートアクセスVPNの同時接続数が増加した場合、ハードウェアルーターを買い替えることなく、ライセンスを買い足すだけでVPN対地数を拡張することができます。



3. 1台の仮想マシンサーバー上で多数の『vRX』を動作可能

1台の仮想マシンサーバー上で複数の『vRX』を動作させ、拠点や業務システムごとに専用の仮想ネットワークを構築することで、セキュリティ向上や運用負荷の軽減を実現します。また、個々の『vRX』に独立したルーティングテーブルを保持できる構成のため、拠点や業務システムごとに独立した経路制御を行うことも可能です。



4. ヤマハルーターの設定ノウハウを継承

既存ハードウェア型ヤマハルーターの大多数のコマンドをそのまま利用できます。

※ 『vRX』では、一部サポートしない機能があります。

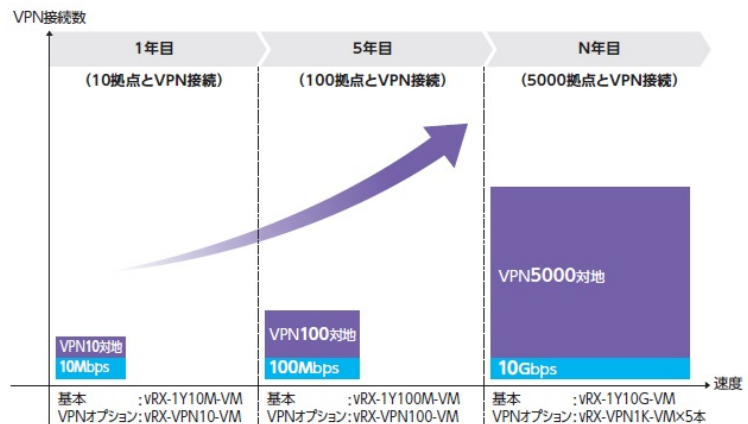
```
# show config
# vRX Rev.19.01.02 (Tue Oct 6 16:05:17 2020)
# MAC Address :
# Memory 7810Mbytes, 4LAN
# main: vRX MAC-Address=
# Reporting Date: Oct 6 16:48:42 2020
administrator password *
login user a *
console character ja.sjis
ip lan1 address 192.168.100.1/24
ip lan3 address dhcp
ip lan3 nat descriptor 1
nat descriptor type 1 masquerade
nat descriptor address outer 1 primary
syslog debug on
tftp host any
dhcp service server
dhcp scope 1 192.168.100.201-192.168.100.250/24
dns server 192.168.0.1
sshd service on
sshd host key generate *
sftpd host any
#
```

ヤマハ仮想ルーター上の show config 結果

○ルーターを仮想化することのメリット

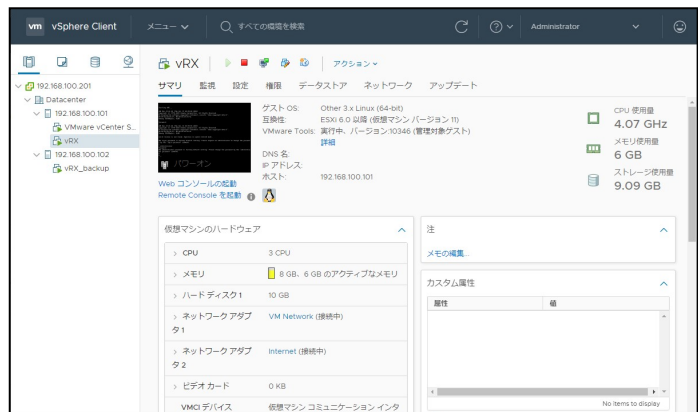
1. スケーラブルなスペック選定

『vRX』を動作させているマシンの性能次第で、速度や VPN 対地数といったスペックを目的のネットワーク規模に応じて自由に拡張できます。マシン選定の際の目安となる性能指標は、発売に合わせて順次公開する予定です。



2. VMware vCenter Server からの一元管理

『vRX』も、仮想化プラットフォーム上で1台の仮想マシンとして動作するので、VMware vCenter Server から、他の仮想マシンと同様に一元管理することができます。



<仕様>

動作保証対象となる環境は以下の通りです。

ハイパーバイザー	VMware ESXi 6.0 Update 3 以降 / 6.5 / 6.7 最新バージョンに順次対応する予定です。
CPU	インテル Core プロセッサー (第2世代以降、AES-NI 対応モデル) または AMD Ryzen / EPYC プロセッサー (Zen2 マイクロアーキテクチャー以降、 AES-NI 対応モデル)
仮想CPU	2、3、5 コア
メモリー	8GB 以上
仮想メモリー	4GB、8GB
仮想ストレージ	16GB 以上
仮想ネットワークアダプター	1 ~ 4 個 (VMXNET3 [※])

※ SR-IOV (Single Root I/O Virtualization) および DirectPath I/O には未対応。

発売開始時の仕様は以下の通りです。

仕様	最大値
LAN インタフェース数	4
IPv4 スループット	20 Gbit/s
IPsec スループット	2 Gbit/s
VPN 対地数 (IPsec)	6,000
VPN 対地数 (マルチポイントトンネル)	100
VPN 対地数 (L2TP/IPsec)	1,000
VPN 対地数 (L2TPv3/IPsec)	99
VPN 対地数 (最大設定可能数)	6,000

※ 動作環境により、発揮できる性能が異なります。

※ 必要な VPN 対地数や速度に応じたライセンスの購入が必要です。

※ 本スペックは発売時には変更される可能性があります。

● 『vRX』 との VPN 接続の設定例は下記ウェブサイトにて随時公開します。

<https://network.yamaha.com/>

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 TEL. 03-5488-6605

■ 一般の方のお問い合わせ先

ヤマハルーターお客様ご相談センター TEL. 03-5651-1330
ウェブサイト <https://network.yamaha.com/>
